

みちのく会は東日本大震災、福島第一原発事故により北海道へ移り住んだ被災避難者の自助団体です。当会は、2011年4月23日に発足し、会員同士の自助、地域市民とのコミュニティの発生、それぞれが願う自立を目指し、様々な取り組みを行っています。

ホームページ: <http://michinokukai.info/>

ブログ: <http://ameblo.jp/coco-kara-hokkaido/>

メールアドレス: office@michinokukai.info

札幌本部長になって思うこと

3月より札幌本部長となりました、藤本です。改めてよろしくお願ひ致します。

私も避難から、あつというまの5年目。震災から、気が付けば北海道に移り、気が付けばみちのく会に入り、気が付けば役員になり、気が付けば3年間無償でやり続けたみちのく会のお仕事。イベントにでたり、手伝ったりと、様々な経験をさせていただきました。

3年前から他の仕事である支援事業で、たくさんの方々と出会い、お話しする機会があり、昨年は北海道内の避難されてきた方にお会いしてきました。ふと、気が付けば、道内の避難者の方に一番お会いお話しできた避難者だったのではないかと感じています。

「無事でよかったね。生きてよかったね」震災後あの時の感じは、この北海道に来て、沢山の方が感じていた最初の気持ちだったんだなあと思います。沢山の方とお会いしたなかで、共有していた大事なものだなあ。と感じたので、この場を借りて改めて共有したく記させていただきます。

そんな中で誕生した、みちのく会は「北海道の震災当事者自助団体」です。みちのく会は「政治活動や思想にはかたよらない」で、当事者の自助団体として、ぶれない事。

同じ避難者でつくる自助団体とは何なのか?と日々考え、意見交換しています。

ただ、みちのく会も、ついにこの5年目は事務所を持つての存続か?消滅か?の段階に入りました。なぜなら、時間の都合で、常駐できる運営スタッフが現在いない。という問題があります。限られた時間の中で、情報をお届けすることも、限りがでてきました。

現在、会で進めているヒアリングアンケートの内容も、今後もみちのく会は必要?不必要?会員を継続したいという方はどれだけいるの?といった、現状として会の明確化と把握をしております。

北海道避難者の「自助団体」として不必要になったとき「みちのく会」はなくなります。ただ今後は、心のよりどころとして同窓会のようなカタチになるのが自然な流れになりそうです。

「限られた時間だけど、参加できます。」という方は、みちのく会までお声かけください。無理をしない自助の形を会員の皆様と共に考えることができれば幸いです。無理のない、ご協力のほど、宜しくお願ひ致します。



7/10ありがとう北海道プロジェクト



6/22の来訪者 ホーンテッド時計台ガイさま

防災対策

“気付き”の文章を募集します！

みちのく会札幌発の企画で、今「小学生低学年向けの防災本」(フルカラー、8ページ)の企画を進めています。防災対策の本に、災害を体験した当事者(みちのく会)の声を載せた形式となります。防災の日が9月1日ということもあり初旬に完成予定を目指しています。

そこで、震災から5年目たち、少しでもぜひ次の世代にのこした方がよい“気付き”を募集しています。

執筆して頂いた方には、謝礼として、500円の図書券。

防災本掲載者には、追加1500円の計2000円の図書券を謝礼を考えております。

※テーマが複数でも1人あたりの謝礼は500円分までとなります。

文章の内容のテーマは以下の5つの中からお選びください。

1. 普段からできること
2. 地震がおきたら
3. 避難時の注意
4. 警報や津波について
5. 震災を体験して気付いたこと

上記のテーマから、1つでも、5つそれぞれでもかまいません。

- ・〇〇したとき〇〇だったら良かった。
- ・〇〇のときは〇〇すべきだった。
- ・〇〇だったとき〇〇したらよかった。
- ・今回体験から〇〇することが想定できる。

というような書き方で、約130文字程度での“気付き”の文章を募集いたします。

文章は、低学年の子どもたちが読むのと、文章が入る数が限られているので、掲載時、多少リライトがされることがあります。

書いていただいた著作物は全て、みちのく会に帰属して頂きますことをご了承ください。

文章の締め切りは8月6日(木)まで、メール、FAX、ハガキ等、どれでも構いません。

体験したからこそ、次世代に残しておきたい防災感覚をお伝えできるよう、ご協力お願い致します。

下記をご記入の上、みちのく会月寒事務所までお寄せください。

- ・名前
- ・ご連絡先
- ・郵送先:郵便番号&住所
- ・選択したテーマ名
- ・気付きの文章(120~140文字程度)

応募先&お問い合わせ先

<みちのく会月寒事務所>

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条7丁目1-11

TEL&FAX:011-826-4092

Mail:office@michinokukai.info

本間会長を取材してきました

今年3月、震災後すぐに札幌で就職した会社に4年ぶりに復帰された本間会長を訪問し、震災後の4年間を振り返って今思うこと、みちのく会への思いなどを伺ってきました。



Q. 震災後4年間のみちのく会を振り返って、一番印象に残っていることを教えてください。

A. みちのく会の会長をしてきたことで本当にたくさんのお出会いに恵まれたし、良い経験もさせていただきました。その中でもやはり、震災後に札幌へ来て、あったかい道など次々とイベントを開催したりと慌ただしい中で、同じように避難してこられた方と一緒に泣いたり、笑ったりしていた初期のことが一番印象に残っています。札幌に行ったらすぐに仕事をしなくてはいけない事情もあり、宮城にいるうちに、ハローワーク札幌の求人情報を見て履歴書を送ったのがルーツ・オブ・ジャパンだったのですが、その当初から既に、被災地の現状は実際のところどうなのかといった話や、札幌に避難した人たちのネットワークが必要になってくるだろうといった話をしていました。また、初出勤から2週間ほどの4/9に開催した第1回あったかい道のイベントでは避難者さんの送迎付きだったのですが、乗り合わせた避難者さんどうしが繋がって親しくなれたり、その時のドライバーさんと4年を過ぎた今でも交流が続いているという避難者さんもいらっしゃったり。こうして振り

返ってみると、あの時やっていたことは間違っていないと思えます。

どこへ避難しようか悩んでいる人が安心して来られる場所、慣れない土地で少しでも心が和らぐ場所でありたい、そのためには会も自立していかなくてはいけないと感じていたときに、株式会社ベガスウインドルさんがお菓子の売り上げの一部を缶バッチを作る機械という形で寄付してくださり、さらに業者の紹介、会計ソフトの使い方なども教えていただきました。缶バッチ作りは、今も会の収入の要となっています。思えば、様々な場面で人に恵まれ、みちのく会は動いてきたのだと、今改めて感じています。

Q. ご自身の今、そしてこれからのみちのく会への思いを聞かせてください。

A. 4年間を経て自分のカラーが強くなっていると感じ、もっといろんな人のカラーで会を動かしていくのがベターではないか、同じことを惰性で繰り返していくのが良いことではない、という思いがありました。また、自分自身もきちんと就職して普通の生活をしていきたいと思い、今に至ります。勤め先のルーツ・オブ・ジャパンが6月にオープンさせたモノココ円山店には、みちのく会の会員さんが足を運んでくれて、その度に温かい気持ちになっています。仕事に就くことや自立することが会員さんにとっての答えではなく、また、会を大きく発展させることが正解でもない。一人ひとりがどう暮らしていきたいかを考えるための時間がまだまだ必要です。階段を上るスピードは人それぞれ違うし、無理に引っ張り上げようとしても駄目ですよ。だから自分の足で一段一段上っていくためにも、辛かったら辛いと言える場、たわいない話をしに来られる場が必要で、共有できる場としてのみちのく会の役割がまだあると思っています。

私も、何か相談事があったら、個人的にいつでも相談にの



ります。近々、念願のカフェをモノココ円山店内にオープンする予定です。そちらにもぜひ遊びにいらしてください。

本間さん、ありがとうございました。お店の詳細はモノココ円山店FBページをご覧ください。

<https://www.facebook.com/monococom>

スタッフ紹介(武田 まさみさん)

今年4月からスタッフになりました武田です。よろしくお願いいたします。

関東からの母子避難ですが、私自身は道東の中標津町の出身です。事務所のスタッフの方には東北や関東出身の方が多いので、時々、自分でも気づいていなかった北海道弁を指摘されたりして、おもしろいです。

震災当時、小学1年生だった息子も6年生になり、上に中学生と高校生の息子もおります。全員すっかり北海道の暮らしになじんで快適に暮らしていますが、2~3カ月に1度しかお父さんに会えないのが寂しいようです。

札幌に来て4年目ですが、仕事をしなくてもなかなか条件の合う求人が見つからず、時間を持て余していた時期もあります。友達もほとんどいなかったのも、一日中テレビがお友達でした。そんな時、みちのく会の茶話会に参加してみたら、近所に住む方と知り合えたり、同い年の子がいる方と学校のことで話がはずんだり、本当に楽しい時間を過ごすことができ、だんだんみちのく会に顔を出す日が増えてきました。

そして今は、念願の事務所スタッフになれて「今日は会員さん来てくれるかな?」と毎朝楽しみに出勤しています。



現在、私は、盲導犬のタマゴを育てるボランティア(パピーウォーカー)をしています。昨年7月から子犬を預かり、盲

導犬協会から指導を受けながら育てています。今では1歳2ヶ月になりましたが、小さかった頃から時々みちのく会の事務所にも連れてきてお邪魔させて頂いております。会員さんもスタッフも犬が好きな方が多く、いつもかわいがっていただきありがとうございます。

月1回の茶話会の時には、みなさんに楽しんでいただける体験講座を企画しています。また、その様子や、事務所の出来事をブログに載せる仕事もしています。みちのく会の楽しい雰囲気や伝わるような記事を心がけていますので、ぜひ見てみて下さい(「アメブロ みちのく会」で検索して下さいね)。

これからもみなさんのお役に立てるよう頑張ります。

7/16(木)そば打ち見学会を開催しました

北海道は作付面積も生産量も日本一を誇ります。寒暖差が大きく湿度が低い、北海道の気候はまさにおいしいそばが育つ条件にピッタリな気候なのです。そんなそば王国北海道にちなみ、いしかり手打ちそば同好会のお二人を講師にお呼びして、そば打ち見学会を開催しました。



摩周産のそば粉を使い、水回し、練り、のし、切り、そして茹でるところまで、作業一つ一つ丁寧に説明していただきました。流れるような手つき、時折笑いを誘いながらの分かりやすい説明、さすがです。そして手際よく茹で、冷水で引き締めたお蕎麦は絶品で、参加された皆さんからも大好評でした。北海道の方との交流を深めつつ、また一つ、北海道の魅力を体感できました。

ぜひまた開催してほしい、自分でも打ってみたいという方がいらしたら、次回以降にそば打ち体験の開催も検討したいと思っていますので、リクエストをお寄せ下さい。

※持込み企画募集!!

今後も、月に1回程度のペースでお茶会を開催していく予定です。皆さんからの持ち込み企画を募集しています。こんなことが教えられるよ~など、皆さんの趣味・特技を活かす場として、みちのく会の茶話会をご利用ください。

会員の皆さまに ヒアリングアンケート実施中です

みちのく会が発足してから丸4年が経過し、みちのく会への入会手続きをされて以降、連絡先や家族構成などが変わった方もいらっしゃると思います。

3月に発行郵送した会報が宛先不明で多数戻ってきたこともあり、現況を把握するため、みちのく会へ会員登録されている皆さま(現在、北海道にお住まいの方)を対象に電話によるヒアリングアンケートを実施することにいたしました。

- ・住所、電話番号など登録内容の確認
- ・住宅支援の現況等確認
- ・みちのく会への登録の継続を希望されるかどうか
- ・MLで流してほしい情報など必要なサポートについての項目について、確認、質問しております。

みちのく会事務所(011-826-4092)より順次お電話を差し上げておりますので、ご協力をお願い致します。また、なかなか平日昼間の電話対応が難しいという方には、メールやFAXでの回答も受け付けます。みちのく会ホームページから質問用紙(PDFファイル)をダウンロードできますので、そちらをご利用ください。

<http://michinokukai.info/wp-content/uploads/2015/07/e2a7be14733920290163cbb324bb5163.oxps>

みちのく会(札幌)今後の予定

8月9~の週は、みちのく会の業務はお休みさせていただきます。その間みちのく会にいただいたメールへの対応も翌週にさせていただきますので、ご了承ください。

みちのく会の問い合わせ先はこちら

■みちのく会 札幌本部

札幌月寒(つきさむ)事務所

住所:〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条7丁目1-11

Tel・Fax: 011-826-4092

HP: <http://michinokukai.info/>

E-mail: office@michinokukai.info